

令和 3年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	徳永
	全体計画						経費区分		経常的経費		内線	3642
事務事業名	4289 通常保育事業											
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課											
施 策	12020900 子育て環境の充実											
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	030203 民生費・児童福祉費・保育所費										
	事業	030000 通常保育事業										
事業目的						事業概要・効果						
保護者の就労や病気により、家庭において十分保育することができない児童を家庭の保護者にかわって保育し、児童の健全な発育を図る。						保護者が昼間労働に従事するなど、家庭において十分保育することができない児童の保育を行った。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
保育の実施予定延児童数11,300人	
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		472,428	481,046
特定財源	国庫支出金	4,687	5,999
	都道府県支出金	4,813	2,589
	地方債	0	0
	その他	86,037	85,052
一般財源		376,891	387,406
人員数(人)	正規職員	60.7	0.0
	嘱託職員	46.8	0.0
	臨時職員	55.5	0.0
人員コスト	正規職員	422,957.6	0.0
	嘱託職員	147,373.2	0.0
	臨時職員	93,129.0	0.0
	計	663,459.8	0.0
市民一人当たりの経費		21.7	9.2
総額		1,135,887.8	481,046.0

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	27	謝礼29
10節 需用費	87,831	賄材料費等81,460
12節 委託費	1,430	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	170	通園費補助金187
その他	382,970	嘱託人件費333,955

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	33	謝礼
10節 需用費	96,390	賄材料費他
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	219	通園費補助金207
その他	384,404	フルタイム人件費等356,297

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	幼児教育・保育の無償化により保育の必要性は高まっている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	公立での保育提供は有効。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	公立保育園で効率的な保育を実施している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

幼児教育・保育の無償化によ費り保育の必要性は高まっている。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>保護者が昼間労働に従事するなど、家庭において十分保育することができない児童を適切に保育することができた。 待機児童ゼロを維持できた。</p>		<p>信州型自然保育を取り入れるなど、児童の健全な発育に努めた。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	